

| | | |
|--|----------|-----|
| 科目名称： | 医療事務演習 I | |
| 担当者名： | 石堂みゆき | |
| 区分 | 授業形態 | 単位数 |
| 専門教育科目 | 演習 | 1 |
| 授業の目的・テーマ | | |
| 医療機関にとって医療事務は欠かせないものです。国民皆保険制度により、保険診療業務がほとんどである今日、年々複雑化する事務処理は専門技能者による円滑な処理が望まれます。ここでは、保険診療の根幹である医療保険制度、その他の医療保険（後期高齢者医療制度・公費負担医療制度）また介護保険制度にいたるまでを理解し、治療費の計算方法・窓口徴収・患者対応を実践して受付事務の基礎知識を修得し、スムーズに受付処理ができるようになることを目指します。 | | |
| 授業の達成目標・到達目標 | | |
| 医療事務技能審査試験合格率100%になる様に創意工夫しながら、学生が興味を持って自ら学修する意欲を引き出せるような内容にします。目標は医療事務技能審査試験の基礎知識分野の修得です。 | | |

| | | |
|----------|---|------|
| ビジネス実務学科 | ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針） | 重点項目 |
| DP(1) | 建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。 | |
| DP(2) | 医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。 | ○ |
| DP(3) | 多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。 | |
| DP(4) | 学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。 | |

| 評価方法/ディプロマポリシー | 定期試験 | クイズ 小テスト | 提出課題 (レポート含む) | その他 | 合計 |
|----------------|------|-------------|------------------|-----|-----|
| ビジネスDP(1) | | | | | 0 |
| ビジネスDP(2) | | 70 | 20 | 10 | 100 |
| ビジネスDP(3) | | | | | 0 |
| ビジネスDP(4) | | | | | 0 |
| | | | | | 100 |

| | | |
|--------------|--------------------------|--------------|
| 実務経験のある教員の担当 | 担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載） | |
| あり | 《内容1》 医療事務点検業務・受付 | 《経験年数1》 1 2年 |
| | 《内容2》 | 《経験年数2》 |
| | 《内容3》 | 《経験年数3》 |
| | 《内容4》 | 《経験年数4》 |

| |
|--------------------------------|
| 備考 |
| 出席を前提とし欠席は授業への積極的関与がないものと判断する。 |

| 到達目標ルーブリック | すばらしい | とてもよい | よい | 要努力 |
|-------------|--|--|-------------------------------------|---------------------------------|
| 医療保険制度の種類 | 社会保険と国民健康保険の種類、被保険者証の見方を自分自身で判断し適切に見分けられる。 | 社会保険と国民健康保険の種類、被保険者証の見方を指示に従って適切に見分けられる。 | 社会保険と国民健康保険の種類、被保険者証の見方を指示通り見分けられる。 | 社会保険と国民健康保険の種類、被保険者証の見方を理解できない。 |
| 公費負担医療制度 | 公費負担医療制度の仕組み、種類の見方を自分自身で判断し適切に見分けられる。 | 公費負担医療制度の仕組み、種類の見方を指示に従って適切に見分けられる。 | 公費負担医療制度の仕組み、種類の見方を指示通り見分けられる。 | 公費負担医療制度の仕組み、種類の見方を理解できない。 |
| 患者接遇マナー | 患者接遇の基本対応を理解し自分自身で判断し適切な対応ができる。 | 患者接遇の基本対応を指示に従って適切な対応ができる。 | 患者接遇の基本対応を指示通りに対応できる。 | 患者接遇の基本対応を指示通り対応できない。 |
| 初診料・再診料、入院料 | 算定条件を十分に理解し、自分自身で正しく点数算定ができる。 | 算定条件を十分に理解し、指示に従って適切に点数算定ができる。 | 算定条件を理解し、指示通りに点数算定ができる。 | 算定条件を理解できない。 |

| 授業の内容・計画 | 事前事後学修の内容 | 事前事後学修時間(分) |
|--|---------------------------|-------------|
| 第1回 【オリエンテーション、医療保険制度Ⅰ】 窓口業務(医療事務)についてグループワークを行い、ディスカッションする。 | このシラバスを精読しておくこと | 30分 |
| 第2回 【医療保険制度Ⅰ】 窓口業務で必要な医療保険診療のしくみについて理解する。 | 基礎ドリルの〈医療保険制度の問題〉で復習すること | 30分 |
| 第3回 【医療保険制度Ⅰ】 窓口業務で必要な医療保険診療のしくみについて理解する。 | 課題プリントで復習すること | 30分 |
| 第4回 【医療保険制度Ⅱ】 医療保険制度の種類、被保険者証の見方等を理解する。 | 受験対策問題集のAの学科で復習すること | 30分 |
| 第5回 【医療保険制度Ⅱ】 後期高齢者医療制度等、介護保険を理解する。 | 課題プリントで復習すること | 30分 |
| 第6回 【患者接遇(基本マナー)】 望まれる医事担当者、応対・言葉遣いの基本等を学習する。 | 基礎ドリルの〈窓口対応の問題〉で復習すること | 30分 |
| 第7回 【患者接遇(基本マナー)】 受付担当者の対応についてロールプレイングを行い、ディスカッションする。 | 技能審査問題集(実技Ⅰ対応)で復習すること | 30分 |
| 第8回 【患者接遇(基本マナー)】 望まれる医事担当者の対応についてグループワークを行う。 | 技能審査問題集(実技Ⅰ対応)で復習すること | 30分 |
| 第9回 【初診料】 初診料の点数算定方法を理解する。 | 基礎ドリルの〈初診料・再診料の問題〉で復習すること | 30分 |
| 第10回 【初診料、再診料】 初診料・再診料の明細書の記載要領を理解し、明細書の点検を行なう。 | 受験対策問題集のAの学科で復習すること | 30分 |
| 第11回 【入院料】 入院料の点数算定方法を理解する。 | 基礎ドリルの〈入院料の問題〉で復習すること | 30分 |
| 第12回 【入院料】 入院料の明細書の記載要領・点検を理解する。 | 受験対策問題集のAの学科で復習すること | 30分 |
| 第13回 【処置】 処置の点数算定方法を理解する。 | 基礎ドリルの〈処置の問題〉で復習すること | 30分 |
| 第14回 【処置】 処置の明細書記載要領、点検方法を理解する。 | 受験対策問題集のAの学科で復習すること | 30分 |
| 第15回 【リハビリテーション】 リハビリテーションの点数算定方法、明細書の記載要領を理解し、明細書の点検理解する。 | 基礎ドリルの〈リハビリの問題〉で復習すること | 30分 |

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、課題プリント・基礎ドリル・受験対策問題集を行い授業の内容理解をしていくことになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
小テスト70%、提出課題20%、授業への貢献、授業への積極的関与10%、

課題に対してのフィードバック

授業中使用プリント、課題は評価し返却する。基礎ドリル・受験対策問題集は、復習状況確認後返却する。

教科書・参考書

教科書：テキスト1～4、スタディブック、ハンドブック、マイベストノート、医科診療報酬点数表、点数早見表
著者：(株)ニチイ学館 出版：(株)東京丸の内出版(医科診療報酬点数表は出版：(株)社会保険研究所)
テキストの該当ページを開きながら、スタディブック、医科診療報酬点数表等で解説する。
参考書：問題集(基礎ドリル、受験対策問題集)